

11月3日(月)

成長しなさい

聖書朗読 エペソ 4:1~16

ですから、私たちは、キリストについての初歩の教えをあとにして、成熟を目指して進もうではありませんか。
ヘブル 6:1

今日の聖書箇所は、新約聖書時代の初歩的ではありますが、素晴らしい信仰のあり方について、明確に述べられたものです。クリスチャンは何を信じているのかと問われたなら、「私たちは、からだは一つ、御霊は一つ、望みが一つ、主は一つ、信仰は一つ、バプテスマは一つ、そして神は一つであることを信じています」と答えるでしょう。こうしたことは、クリスチャンの信仰の基本ですが、具体的に何を信じるかによって、信仰が意味のあるものとなります。神様と聖書について何を信じるのが重要であり、日々倫理的な選択に迫られるときに、どのような信念に従うかが大切です。善にも悪にも、神様について信じる信念によって私たちの行動は左右されます。こうした選択に迫られたとき、慎重な注意深さが求められます。

しかしながら、こうした初歩的な教えは勿論大切ですが、今日の聖書箇所では、成長について語られています。現状から「私たちはあらゆる点において、成長し」「キリストの満ち満ちた身丈にまで達し」「私たちはもはや子どもではないのです。」

誰かに「成長しなさい」と言うことがあったら、それは相手が成長していないことにもどかしさを感じて発する言葉ではないでしょうか。この聖書箇所では、もどかしい思いは伴ってはいませんが、「いつまでも幼子であること」から成長することが、いかに重要であるか、私たちにはっきりと語られているのです。成長しましょう。

讃美歌 16

祈り 主よ。私たちが昨年よりも成長したと、あなた様に認めていただけるよう祈ります。そして、あなた様の助けにより、キリストの身丈にまで成長し続けることができるよう祈ります。

イエス様のお名前によって。アーメン。

クリス・フリッツェル
テキサス州 グランバリー

今日の力

2014年 11月3日~11月9日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月4日(火)

愛の力

聖書朗読 エペソ 4:17~32

人の望むものは、人の変わらぬ愛である。

箴言 19:22

科学研究所で作り出せるものでも、軍隊で訓練して作り出せるものでもない。人の心の奥深くで見いだされ育まれることによってのみ、偉大な力を発揮するもの。年齢に関係なく誰もが持っていて、成長させて使いたいと願うもの。

それは、親切心です。人が親切心に心動かされると、その感動した思いと芳しい香りは、生涯心に残るものです。

多くの場合、その人が相手のために費やそうと思う時間と心を合わせたものが、親切な行いや言葉となって現れるのではないのでしょうか。親切心というのは、瞬時のちょっとした行いに現れる場合が多いのではないのでしょうか。こうした親切心を示す時間は、ほんの一瞬かもしれませんが、その行いが大切なのです。

少し時間を取って、これまでに、親切心にいかに心動かされてきたかを考えてみましょう。そして同じ様に、近くににいる誰かに親切心をもって接してみましょう。

主よ。私たちをあなた様の平和を伝える道具としてください。

憎しみのあるところに、あなた様の愛を増し加えてください。

主よ。私たちをあなた様の平和を伝える道具としてください。

私たちがあなた様の平和を伝える道具となるとき、

高慢と偏見の壁を崩してください。

————— アッシジのフランチェスコ より

讃美歌 第二編 188

祈り 聖なる父よ。どうか私たちをあなた様の御愛と慈愛を伝える道具としてください。日々、周囲の人々の必要に対して、私たちの心を開いてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ボブ・セントラッチオ

テネシー州 モリソン

11月5日(水)

花嫁の代価

聖書朗読 エペソ 5:25~33

・・・七人の御使いのひとりが来た。彼は私に話して、こう言った。「ここに来なさい。私はあなたに、子羊の妻である花嫁を見せましょう。」 黙示録 21:9

古い時代においては、ある女性の夫となる男性は、その花嫁に対して代価を支払わなければなりません。この代価は、妻となるその花嫁が嫁いだ後に、彼女の家族が、彼女を失うことによって被るであろう損失に基づいて計算されました。彼女と心から結婚したいと望む将来の夫は、定められた掟にしたがって代価を支払わなければなりません。この支払いが済んで初めて、彼は家に帰り、自分たち2人のために家を整え、そしてまた彼女の家族のもとへ戻って、彼女を正式に娶りたいと請うのでした。

新約聖書では、この古い慣習になぞらえ、教会を、キリストご自身の血で贖われたキリストの花嫁として描かれています。支払われた代価によって、この花嫁は神聖なものとされ光輝くものとなります。キリストの犠牲により示された御愛と、決して揺るがない大いなるご契約のゆえに、花嫁は常に、キリストの再臨に備えるのです。

花嫁に支払われたキリストの代価は、どれほど高価なものでしょう。私たちは、命がけで自分の子どもを救おうとする親の物語や映画を知っていますが、それらは、悲劇であると同時に、心打たれるものではないのでしょうか。イエス様も花嫁を求めるためにやって来られ、その血潮によって新しい家族をお造り下さったのです。ハレルヤ。

讃美歌 第二編 169

祈り お父様。イエス様とその花嫁について、あなた様に心から感謝します。私たちがイエス様の家族の一員として、心から仕えることができるようにしてください。

グローバー・シップ
テキサス州 オースチン

11月6日(木)

殉教者の心理

聖書朗読 ピリピ 1:12~26

私にとっては、生きることはキリスト、死ぬことも益です。 ピリピ 1:21

私は殉教者に出会ったことはありませんが、殉教者の心理というのはどのようなものだろうかと思います。ネイサン・ヘイルという改革の英雄は、英国によって絞首刑にされましたが、彼は最後に、「私はこの国のために失う命が一つしかないことを悔やむだけだ」という感動的な言葉を残しています。

聖書には、「神の恵みと力に満ち溢れた者」ステパノが、詐欺罪で捕らえられ、サンヘドリンへ引き出されたことが書かれています。ステパノは、咎められ石で打ち殺されますが、彼はキリストが十字架に架けられたときに言われたのと同じようにこう言います。『主よ。この罪を彼らに負わせないでください。』(使徒7:60)

もう一人の殉教者の例はパウロで、クリスチャン殉教者の心理がよく分かります。聖書にはこうあります。『あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜ったのです。』(ピリピ1:29)。私の切なる祈りと願いになっています。『すなわち、どんな場合にも恥じることなく、いつものように今も大胆に語って、生きるにも死ぬにも私の身によって、キリストがあがめられることです。』(ピリピ1:20)」

クリスチャン殉教者の思いは、キリストを知らない人々に向けられ、彼らを憐れみ、頑なな心を変えられるよう祈るものでした。彼らはイエス様を見上げていたのです。

讃美歌 337

祈り 親愛なる主よ。自らをキリストのために捧げられるほど強い信仰を持つことができるようにしてください。決してつまずくことがないように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ギャリー・ホランズワース

ヴァージニア州 マーティンスビル

11月7日(金)

人を助けることで自らを助ける

聖書朗読 ピリピ 4:10~20

私は、私を強くくださる方によって、どんなことでもできるのです。

ピリピ 4:13

人を励ますとは、その人を愛すること、教えること、そして、その人が自分自身と周囲の人々を支える手助けをしてあげること。人を助けるという働きには波及効果があり、小石を静かな池に投げて波の輪が広がって行くようなものです。人を愛し助ける行為は、集団の中に波及していくものです。

すべては、まず祈りのうちに、神に助けを求めることから始まります。私たちは、神の導き、向かうべき方向、そして、人生における意志を示してくださるよう祈ります。神は、神の御国で私たちに望まれる使命と同様、この世の人生においても、ビジョンを示し、果たすべき使命へと導いてくださいます。

神は、私たちが欠けた不完全な存在であるにも関わらず、私たちを用いられます。神が私たちを用いられるとき、私たちは成長し、力を与えられ、より効果的に、役に立つ働きをすることができるようになるのです。神は私たちに力を与え、使命を果たすことができるようにしてください。アウグスティヌスは、こう言っています。「神は風を備える、だが人が帆をあげなければならない」。

讃美歌 448

祈り 全能の神であられる愛するお父様、私たちを励まし、あなた様の御国の働きを、あなたとともにさせていただけることを感謝します。どうか私たちをいつも力づけ、この地上にあって、あなた様のご意志を成し遂げることができるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

S・ビル・ジメンズ

カリフォルニア州 サンフランシスコ

11月8日(土)

命を結び合わせるもの

聖書朗読 コロサイ 1:15~23

御子は、万物よりもさきに存在し、万物は御子にあって成り立っています。

コロサイ 1:17

ある最近のクリスチャンソングに、自分の歩むべき道が、周囲の様々な声によって、いかに左右されるものかという始まりの歌があります。私たちの生きる世界には、何と様々な意見があることだろうと思いますが、それによってしばしば、私たちの人生が不確かに思え、正しくない方向へと向かっているように思われることがあります。

パウロがコロサイの人々に宛てた手紙にも同じ様なことが書かれており、「人間的な因習」や「様々な精霊と呼ばれるもの」に、若いクリスチャンらがいかに捉われてきたことかと語られています。そうした経験が、彼らの心を挫き、心を閉ざすこととなったのです。私たちは再び立ち上がらなければなりません。

パウロは、人生において、あらゆるものを一つに結び合わせるものについて言及しています。「万物は御子にあって成り立っています」。すなわち、イエス様こそすべての問いに対する答えであり、人生が描かれるキャンパスのフレームを与えてくださるのです。福音の真理により、人生で示されるいかなるものについても、その舵を取っていくために必要な知恵と理解力が与えられます。最近の言葉で言えば、クリスチャンとしての世界観によって、私たちの行い、言葉、考えのすべての枠組みが与えられるのです。

無数の意見の対立は止む気配がありません。その代り、イエス様のみことばこそ、イエス様を通して私達が知ることのできる全体像を示してくださるのです。イエス様こそ、人生をひとつに結び合わせてくださるお方なのです。

讃美歌 262

祈り 親愛なる神様。魅惑的なことばによって、私たちが人に惑わされることがないようにしてください。真理のみことば、福音を、あなた様に感謝します。あなた様が結び合わせてくださるものによって、私たちを一つにしてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ハロルド・シャンク

ウェストヴァージニア州 ウィーン

11月9日(日)

穏やかに論ず

聖書朗読 IIテモテ 2章

わたしが、あなたがたを遣わすのは、狼の中に羊を送り出すようなものです。ですから、蛇のようにさとく、鳩のようにすなおでありなさい。 マタイ 10:16

このようなことがどれだけあったことでしょう。脈は速くなり、顔は真っ赤、声を荒げ、私の指はいかににも正しいことを証明するように聖書を指し示しています。目の前には被害者がいます。彼にも言いたいことはあるでしょう。しかし、私は、彼の言葉を聞こうともせず、自分が暗唱している聖句をまくしたて、彼に有無を言わせません。つまり、私は平和の君である主のメッセージを、心に全く平和のない状態で説明しているのです。

けれども、私は、このことを正当化すべく、自分がただ神のお言葉に熱心で、義のために憤慨し、真理を切に求めているのだと言い訳をします。

このような姿勢でいる私には、今日の聖書箇所は戒めです。主にある働きにおいて、メッセージを伝えることは大切ですが、同時にその伝え方も大切なのです。イエス様はメッセージをお語りになっただけではなく、共にメッセンジャーもお送りくださっています。知恵のある狡猾な人々、説得に長けた人々などで満ち溢れたこの世に、イエス様は、心が変えられた貴重な人々を送ってくださいました。彼らの謙虚さやイエス様のような仕える精神こそが、イエス様が敵の為に命を捧げてくださったという信じがたい事実を、確かな真実であると証するものなのです。

確かに、説得も時には効果があり、脅しも効力があるかもしれません。知恵のある人や偉い立場の人であれば、そうした人に感銘をうける人もいるでしょう。けれども、最終的には、イエス様のやり方で、イエス様のみことばを伝えるのでなければ、勝利することはできないのです。

讃美歌 502

祈り 親愛なるお父様、福音を語る大胆さをお与えください。けれども、大胆さと憤りを履き違えることがないようにしてください。福音を愛で包んで語り、押し売りする人ではなく、仕える人としてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジム・バード

オクラホマ州 エドモンド